

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 ストップ・フロン全国連絡会

1. 事業の成果

○オゾン層やフロン問題への社会の関心は薄れてきており、改めて啓発が必要であることと法律改正にあわせて最新情報を盛り込んで、学習教材「オゾン層ってなんだろう？」の改訂版を作成した。また、昨年に引き続き啓発冊子「Fガスフロン」を各方面に配布した。

○法律改正に当たり、審議会の傍聴、意見の提出など積極的に働きかけた。ノンフロン冷凍機システムに関しては、世界の動向の調査と会議等の参加、海外との連携を模索した。

○上記のような多様な観点から企画や活動を展開し、「脱フロン」社会実現への呼び掛けを通し、オゾン層保護や地球温暖化防止のためのフロンガス対策が行われるよう、関係各方面並びに広く一般にその情報や活動を提供した。

2. 事業の実施に関する事項

事業の種類	事業の概要	事業名及び内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者	支出額(円)
1) オゾン層破壊や地球温暖化等の問題に関わる市民啓発及び情報提供	①Fガスパンフ配布と啓発紙芝居	啓発冊子「Fガスフロン」を会員及びイベント参加者及び自然冷媒に関心ある市民に配布。会報ならびにホームページで公開した。	1年を通じて	事務局並びに関係者	約30名	会員および配布を受けた多数の一般市民	187,070
	②ホームページ制作とインターネット管理	ホームページを管理し、更新した。一般市民に対し、当会の活動を紹介し理解と協力を求めると共に、一般市民が情報を活用できる工夫をした。	年間を通じて実施	事務局	若干名	不特定多数の一般市民	399,260
	③環境教育対応プロジェクト	環境教材「オゾン層ってなんだろう？」のデータの入れ替えなどを含む、改訂版発行。副題～めざそう！ノンフロンの世界～	年間を通じて実施	事務局	延べ30名	会員およびシンポジウム関係者	1,115,797
		「エコキッズキャンプ」を気候ネットワークと共催し、従前に培ったノウハウを提供した。次世代育成の一助とした。	8月3日、4日	事務局と関係各所	延べおおよそ20名	イベント参加者	2,960
2) オゾン層破壊や地球温暖化等の問題に関わる情報の収集、企画、調査、研究ならびに提供	①国内のオゾン層保護対策や紫外線対策のフォロー	「改正フロン法」にかかわる、審議会傍聴、および意見書やプレスリリースの発行などを、気候ネットワーク、消費者連盟などと連携して行った。	年間を通じて実施	事務局及び都内	延べ20名	会員及びホームページを通じた不特定多数	30,000
	②国外のオゾン層保護対策や紫外線対策のフォロー	海外の自然冷媒普及などの調査研究、並びにアトモスフィアネットワークなどの国際シンポジウムに参加。	平成25年2月	東京都千代田区	若干名	会員およびシンポジウム関係者	317,495
3) 個人・団体との交流及び情報の収集・提供	①各種イベントへの出席・参加	滋賀県オゾン層保護デーイベントへの出席	平成25年9月	滋賀県大津市	若干名	イベント参加者関係者および市民	41,684
	②群馬銀行環境財団への協力及び情報提供	群馬銀行環境財団主催「エコ・キッズキャンプin赤城山」に対して、「エコ・キッズキャンプin富士山」で培った環境教育対応プロジェクトのノウハウと情報を提供して協力した。	8月17日～18日	前橋市赤城少年自然の家	若干名	参加小学生35名、学生スタッフ10名	0
4) 保全活動及び関連事項に関する公共政策の提言とその普及・啓発	フロン放出防止のための国内政策提言	国内のフロンガスの放出禁止の措置を図り「脱フロン」社会へ向けて、政策提言、技術の普及・啓発に取り組むための情報収集を実施し、プレスリリース等を発表し、ホームページ等を通じその普及と啓発に努めた。	年間を通じて実施	主に都内において	延べおおよそ40名	不特定多数の一般市民	34,320
5) 機関誌及び調査研究報告書の発行と配布	ニュースレター等の発行と配布	フロンニュース64号を発行配布。発行はずれ込んだが最新情報を盛り込めた。	2月より編集に着手。旧版配布は年間を通じて	国内	事務局	会員およびシンポジウム関係者	38,676